

## 平成 19 年度決算について

### 1 決算の概況

損益計算書(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)(単位:百万円)

|                   |        |        |        | 19 年度  | 18 年度  | 19 年度  |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|                   | 大学     | 附属病院   | センター病院 | 決算     | 決算     | 収支計画   |
| 経常費用①             | 11,390 | 18,511 | 21,475 | 51,377 | 48,569 | 50,022 |
| 経常収益②             | 11,558 | 18,585 | 21,495 | 51,639 | 49,798 | 49,716 |
| 経常利益③<br>③=②-①    | 167    | 73     | 20     | 261    | 1,229  | ▲306   |
| 臨時損失④             | 93     | —      | 1      | 94     | 14     | —      |
| 臨時利益⑤             | 8      | —      | 24     | 32     | 14     | —      |
| 当期純利益⑥<br>⑥=③-④+⑤ | 82     | 73     | 43     | 199    | 1,229  | ▲306   |
| 目的積立金取崩⑦          | —      | —      | —      | —      | —      | 323    |
| 当期総利益⑧<br>⑧=⑥+⑦   | 82     | 73     | 43     | 199    | 1,229  | 17     |

### 2 19 年度決算の概要

#### (1) 大学

費用については、科学研究費間接経費補助金の増加に伴う研究経費の増、及び先端医科学研究センター事業の事業進捗に伴う研究経費の増等により教育・研究経費等が対前年 188 百万円の増となりました。また、教員・職員人件費については、対収支計画では、教員、職員の若返り等により、▲256 百万円の減となったものの、対前年度においては退職手当の増、非常勤教員数の増等により対前年+245 百万円の増となり、経常費用は対前年+183 百万円となりました。また、国等からの受託研究収入を財源とした資産の取扱が変更されたことに伴う除却損等により臨時損失が 93 百万円となりました。

一方、収益については、学費改定及び入学者数の増により対前年+211 百万円となったほか、科学研究費間接経費補助金、がんプロ補助金等の国庫補助金が増加したこと等により、雑益等が対前年+115 百万円となりました。また、市から承継した資産にかかる減価償却費が減少したことに伴い、資産見返負債戻入は▲135 百万円となり、経常収益は対前年+183 百万円の増となりました。

結果として、当期総利益は+82 百万円となり、対前年においては▲224 百万円、対収支計画で+67 百万円となりました。

#### (2) 附属病院

費用については、医薬品等の材料費の増(対前年+186 百万円)などにより診療経

費が対前年+296 百万円となりました。医業収益に占める材料費比率については対前年▲0.6%となったものの、今後とも材料費の圧縮に努めていく必要があります。また、人件費については、病院教員の増員や諸手当の増加などに加えて、医学部所属の臨床系教員の人件費を負担したことにより対前年+619 百万円となりました。

一方、収益については、主に7対1看護基準の取得により入院単価が増加（対前年+4,561 円）し、病院収益が対前年+723 百万円となりました。

結果として、当期総利益は+73 百万円となり、対前年においては▲400 百万円となったものの、対収支計画では+73 百万円となりました。

### **(3) センター病院**

費用については、医薬品等の材料費の増（対前年+473 百万円）、委託費の増（対前年+327 百万円）などにより診療経費が対前年+1,020 百万円、医業収益に占める材料費比率については対前年+0.7%となりました。

一方、収益については6月の総合周産期母子医療センター開設などの診療科再編取組や、9月の地域医療支援病院の指定等により、特に入院単価が増加（対前年+3,856 円）したことで、医業収益が大幅に伸び+1,044 百万円の増収となりました。

結果として、当期総利益は+43 百万円となり、対前年においては▲407 百万円となったものの、対収支計画で+43 百万円となりました。

## **3 今後の課題**

### **(1) 大学**

19年度までは、比較的財源に余裕があるなかでの運営でありましたが、20年度以降は更なる運営交付金の削減が計画されており、非常に厳しい財務状況が予想されます。

経費面についての課題としては、人件費比率を50%とする大きな課題とともに、中期計画において大幅な人件費の削減が計画されており、今後、実態と計画の乖離が広がっていくことが予想されます。教育・研究の質を確保しつつ、将来を見据えた適正な人員配置と人件費管理が必要となります。

収益面についての課題としては、中期計画において22年度に学費改定(150 百万円程度)を予定している一方、近年の他大学の状況からは、これ以上の学費改定は厳しい状況にあります。寄附金の確保等、授業料改定にかわる財源確保策（コスト削減を含め）を検討する必要があります。

### **(2) 附属病院**

#### **(1) 医師の人件費について**

附属病院は良質な医師の育成の役割も担っており、臨床はもちろん教育指導体制の充実、学生教育への支援など医学部の要請に応え、年々病院の医師数を増加してまいりましたが、今後は収益とのバランスにも一層配慮する必要があります。

また、「国立大学法人会計基準」に基づき、医学部臨床系教員が附属病院に勤務している実態を把握しそれに応じた人件費を計上する必要があり、これに適切に対応していく必要があります。

(2) 給湯配管改修工事について

給湯配管全体の老朽化に伴う改修工事費は総額で約7億円程度が見込まれます。

また、改修工事の際には病床を休止せざるを得ないことから、患者さんへの影響を極力抑えるとともに、病床休止に伴う減収を最小限にするよう綿密な改修計画を立て、実施する必要があります。20年度については、病床への影響を考慮しつつ、重要な配管から優先順位をつけて実施します。

(3) 電子カルテ・システムの整備について

下記の表のとおり、平成19年度より3か年で整備を進めており、整備費の合計は当初の予定どおり1,860百万円と見込んでおります。

本システムは、横浜市からの長期借入金を財源として整備する計画であり、21年度においても確実にこの財源を確保していく必要があります。

| 年度    | 平成19年度    | 平成20年度    | 平成21年度    | 計           |
|-------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 長期借入金 | 660,000千円 | 740,000千円 | 398,000千円 | 1,798,000千円 |
| 運営交付金 | 62,000千円  | －千円       | －千円       | 62,000千円    |
| 事業費合計 | 722,000千円 | 740,000千円 | 398,000千円 | 1,860,000千円 |

(3) センター病院

平成19年度は、診療収益が引き続き増加している一方で、医薬材料費の増加等により診療経費も大幅に増加しており、医業収益に占める材料費比率は対前年0.7%となりました。センター病院においては、中期目標で医薬材料費比率の縮減とそれに伴う運営交付金の削減を掲げていることから、今後は診療科再編の効果をさらに引き出すことで自己収入を伸ばす努力をする一方で増加した医薬品費や診療材料費の縮減に一層注力し、経営基盤の安定を図ることが大きな課題となっています。

平成 19 年度決算については、経常費用が前年に対して 28 億円の増となり 513 億円。一方、経常収益が前年に対して 18 億円の増となり 516 億円。差引で経常利益が 2 億 6 千万円の計上となりました。この後詳細な説明がありますが、経常費用の増加、経常利益の増加ともに、附属 2 病院において診療費用、診療収益が大幅に伸びたことが大きな理由になっております。更に、経常利益に加えて、臨時損失 9 千万円、臨時利益 3 千万円を計上し、当期総利益では約 2 億円の利益計上となりました。利益の額としては、法人化後最も少ない利益となっており、収支計画との比較では、約 1 億 8 千万円の増益となりましたが、対前年度比較においては▲10 億円の減益ということになりました。今後、運営交付金の削減など財務状況が厳しくなるなかにおいては、月次決算を着実に実施し、経営状況の分析をすすめ、費用と収益のバランスを取り、予算の執行管理を適正に行う必要があると考えられます。